自動車部品

HV技術に商機

ダウンサイジングに脚光

グローバル供給加速

「環境」「新興国」で成長

インドネシアに投資

コスト抑え競争力強化

自動車部品メーカーが中長期の成長の原動力に据えるのが環境対応車と新興国だ。環境対応車は需要が堅調に伸び、新興国市場は成長が見込まれる。ただ、それだけに両分野とも競争は激しくなるばかり。中部地域の部品各社は両分野での競争力を一層強化しようとしている。

豊田自動織機は車に搭載するACインバーターの供給を増やしている

国内では2012年度の新車販売に占めるハイブリッド車（HV）比率は2割に迫る勢いだった。海外では欧州自動車メーカーが積極的に採用する直噴ガソリンエンジンに過給器を組み合わせるダウンサイジングが脚光を浴びている。中部の部品各社は環境対応車向けの技術開発を強化している。

トヨタ紡織は1月にHV用モーターコアに参入した。同社の主力はシートや内装部品でHVユニット関連部品は初めて。HV需要が拡大する中、新たな収益の柱を築く考えだ。

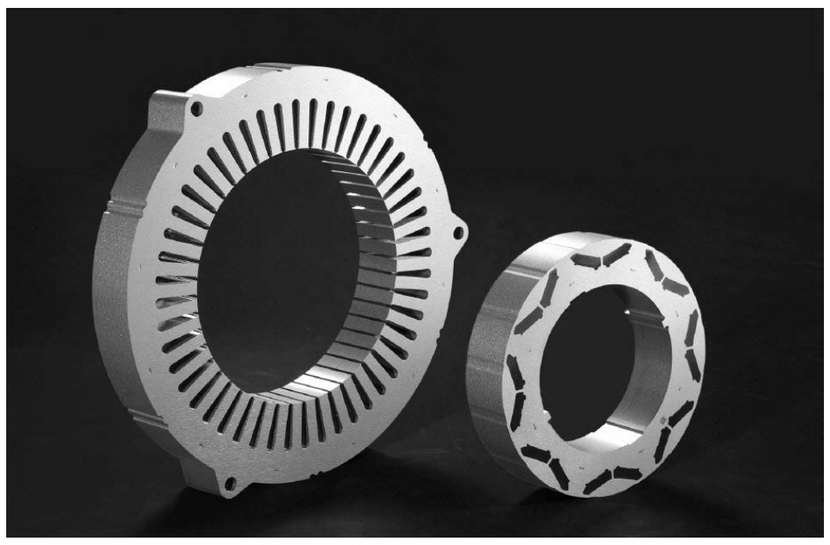
第1弾はトヨタ自動車の高級車「クラウン」新モデルのHVシステムに採用された。ジェネレーター向けコアで、08年から手がけているシート部品の生産で培った高度な精密プレス加工技術を活用した。今後はHV駆動用モーター向けやトヨタ以外の自動車メーカーへの拡大を狙う。

デンソーは約115億円を投じてHV向けインバーターなどパワーエレクトロニクス部品の開発と性能評価を行う施設を安城製作所（愛知県安城市）内に建設し、14年4月に稼働する。性能評価設備を充実させる。

豊田自動織機は車に搭載するAC（交流）インバーターの供給を増やしている。車載電源の直流を交流に変換し、家電製品を使えるようにする製品。95年に生産を始め、累計生産台数が1000万台を超えた。最近では災害発生時の非常用電源としてHV向けに最大1500ワットの高出力タイプの採用が好調だ。

防振ゴム世界トップの東海ゴム工業はダウンサイジングに対応するエンジンマウント開発を進めている。ダウンサイジングではエンジンの振動が大幅に大きくなるため、新しいマウントが求められる。

現在、ゴムの耐久性を高めたり、振動を抑制する機能を向上したりと開発を急ぐ。同社は日系メーカー向けが主力だったが、欧州勢にダウンサイジング対応マウントを提案し、シェアを上げる。



トヨタ紡織が参入したHV用モーターコア。新たな収益の柱を築く

完成車メーカーは海外生産の拡大とともに部品の現地調達を加速している。部品各社にはグローバル供給力の一層の強化が求められる。開発や調達などあらゆる機能の現地化も不可欠だ。

日系車メーカーが強いインドネシアで部品の供給能力を増強する動きは依然、活発だ。アイシン精機はインドネシア・カラワン県に約15万平方㍍の土地を取得した。ブレーキを手がけるアドヴィックス（愛知県刈谷市）などグループとの共同活用を検討する。

デンソーはHV向けパワーエレクトロニクス部品の開発と性能評価を行う施設を建設する（イメージ）

青山製作所（同大口町）も同県にボルト・ナット工場を稼働した。トヨタ自動車やダイハツ工業の現地工場向けに供給する。当初は後加工のみだが、13年末をめどに圧造と転造工程も導入し一貫生産体制を整える。

アサヒフォージ（名古屋市北区）も13年末をめどに、同県に最終減速ギア（ファイナルギア）工場を稼働する。同社にとって東南アジア初の生産拠点。ローリング鍛造と熱間プレス鍛造を複合した独自の低コスト技術を導入する。新車両工場を建設しているホンダ向けに供給。ホンダ以外からの受注も目指す。

槌屋（名古屋市中区）は14年1月をめどにブカシ県にラベルや装飾ストライプなど印刷製品の工場を稼働する。同社が同国に工場を構えるのは初めて。タイからの供給を現地生産に切り替え、コスト競争力を強化する。

インドネシア以外の新興国でも投資が相次ぐ。インドに進出するのはアイシン高丘（愛知県豊田市）。

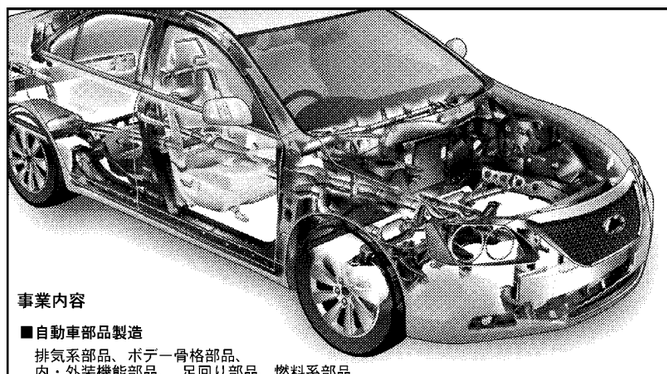
ベンガルール市にある豊田通商の工場敷地の一部を借りてブレーキディスクローターやディファレンシャルケースなど駆動系鋳物部品の機械加工を始める。15年には鋳造ラインを導入し一貫生産体制を整える。

アイシン・エーアイ（同西尾市）はタイ・チャチェンサオ県の工場に第3工場を建設。日本から送っている手動変速機（MT）用冷間鍛造部品を現地生産し、コスト競争力を強化する。増産にも対応する。

海外で競争力を強化するため生産以外の機能の現地化も急ぐ。アイシン・エィ・ダブリュは中国・蘇州市に自動変速機（AT）の試験・評価を行う技術支援センターを設立した。現在は日本で手がけている中国向けATのエンジンなどとの適合評価を始める。現地化によって開発期間の短縮と顧客対応力の強化を図る。

豊田鉄工（愛知県豊田市）はインドネシア・カラワン県にプレス金型生産会社を設立した。生産する金型は同国やインドの自社プレス部品工場に供給する。

同社にとって独立した金型生産会社の設立は初めて。主要供給先であるトヨタなどが部品価格が低い新興国専用車の事業を強化しているため、金型コストを抑えて競争力を強化する。



フタバ産業株式会社

モノづくりで
社会に貢献する。

事業内容
■自動車部品製造
排気系部品、ボデー骨格部品、
内・外装機能部品、　足回り部品、燃料系部品
■情報環境機器部品製造
■専用溶接設備、金型製造

FUTABA
FUTABA INDUSTRIAL CO.,LTD.
愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地 TEL 0564-31-2211
URL http://www.futabasangyo.com/

馬のようなクルマを
創りたい。

柔軟な駆動機構と優れた知能を持ち、
安全、確実、そして快適に目的地まで送り届けてくれる。
馬はまさにドライバーにとって、理想のクルマといえます。
馬のようなクルマを創りたい……。
私たちは、理想のクルマ創りに挑戦し続けます。

アイシン・エィ・ダブリュ株式会社
www.aisin-aw.co.jp

TOYODA GOSEI
～自動車部品とLEDで、
人と地球の未来に貢献～

豊田合成株式会社
―海外17カ国/地域に47拠点を展開―

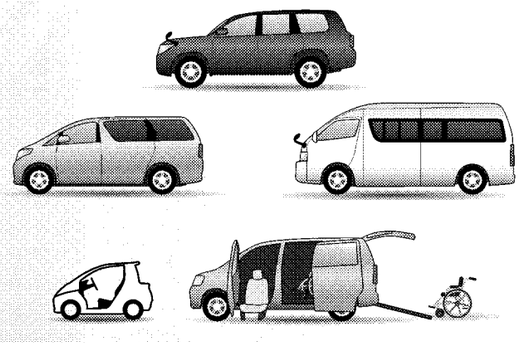
● 内外装部品（インパネモジュール、ラジエータグリル 他）
● オートモーティブシーリング製品（ウェザストリップ、ガラスラン 他）
● 機能部品（燃料タンクモジュール構成部品、ホース類 他）
● セーフティシステム製品（ハンドル、各種エアバッグ 他）
● オプトエレクトロニクス製品（青色・白色LEDランプ・チップ 他）
● 特機製品（通信機器部品、住宅設備製品、産業車輌部品 他）

本社／〒452-8564 愛知県清須市春日長畑1番地
Tel:052-400-1055 Fax:052-409-7491
http://www.toyoda-gosei.co.jp/

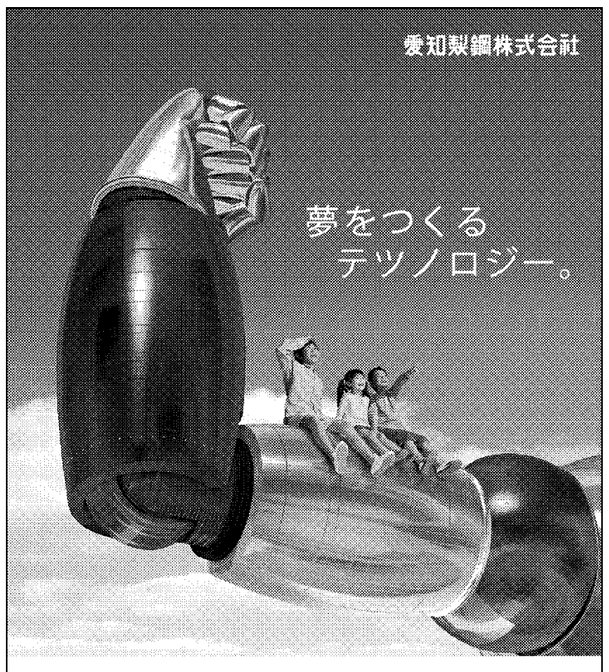
ミニバン、商用車、SUVの
完成車両メーカーをめざして。

トヨタ車体はミニバン、商用車、SUVの企画・開発から生産までを手がけ、
時代をリードし、クルマのある豊かな生活の実現に努めています。

これまでも、これからも、地球環境への対応はもちろん、
豊かなクルマの未来、人の未来へ
私たちは挑戦を続けています。



トヨタ車体 TOYOTA AUTO BODY
トヨタ車体株式会社
〒448-8666 愛知県刈谷市一里山町金山100番地
www.toyota-body.co.jp

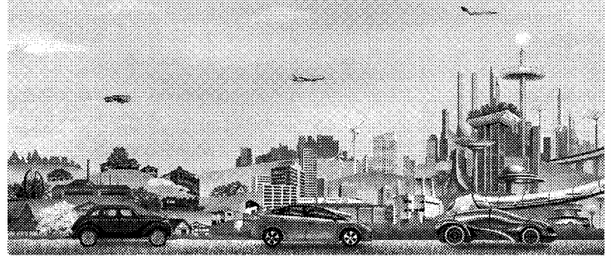


熱く、強く、まっすぐに。

愛知製鋼株式会社
〒476-8666 愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地
ホームページアドレス http://www.aichi-steel.co.jp/

Creating the next value
― モノづくりで、まだない価値を。―

JTEKT
Koyo　TOYODA



JTEKT 株式会社ジェイテクト　自動車部品　軸受（ベアリング）　工作機械・メカトロニクス
www.jtekt.co.jp